
欲求とチョコレート

きぬ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

欲求とチヨコレート

【Nコード】

N1085D

【作者名】

きぬ

【あらすじ】

由紀ちゃんには彼氏の為に毎日チヨコレートを持ってきてます。幸せな02人のあま・い帰り道のお話です。

あたしの鞆にはいつもチョコレートが入っている。

それはあたしの彼氏がチョコレート大好きだからなんだけど。

けなげでしょう???

「由紀ちゃん!!」

あ！彼だ!!

あたしはまるで飼い主に飛び付く犬のよう。

いや、猫かな??

そんなことはどっちでもいいんだけど笑

「新一い…待ってたよお」

部活後、待ち合わせして一緒に帰るのが日課なあたしたち。

ちなみに新一はバスケット部。あたしはサッカー部のマネージャー。

お互い部活で忙しい分、共通の時間は超大切!!

新一にはファンも多いから、ギョツと抱きついてファンを威嚇する。

シャー！！！！
なんちゃって。

「由紀ちゃん…恥ずかしい／＼」

照れてる新二、
かなり可愛いんだけど！！

さっきのあたしの渾身の威嚇でファンはいなくなっていて、待ち合
わせ場所の下駄箱に02人きり…

このシチュエーションじゃあ…

あたしが新二を襲っちゃいそう／＼

でもそこは抑えないと
我ながら頑張った！

あ…あたし日々壊れていつてるみたい。

昔は男の子となんかしゃべることすら無理だったのにな。

新二はそつと身体を離して、あたしの乱暴に手を握って歩き出した。

早歩きで大股でつかつかと歩く新二。

小走りでとことこついていくあたし。会話はない。

…なんか

怒ってる!?!?!?!?!?

シャーっという心の雄叫びが聞こえたのかな…;

抱きついたのが悪かったのかな…;

急にしゅんとするあたし。

さっきまでのテンションの高さはどっしりやら。

我慢できず、

「しん…」

「チョコレート食べたい」

声をかけようとしたあたしの声と振り向いた新一の声がかさなる。

「チョツ…チョコレート?」「うん。なんかおなかすいたから。」

立ち止まり慌ててスクールバックからチョコレートの箱を取り出す。
小さなものが小分けになっていくつか入っているタイプのもの。

味はミルクチョコレート。

小分けの袋のまま新一に渡す。

「はい。」

「あーんって俺の口に入れてよ。」

ん???

んん???

んんん???

あーん?????????

まさか…

「ほら早く」にこにこ笑顔の新二。
なんか黒いオーラが見えますが…

あたしは包み紙をはがした小さなチョコレートを新二の口へと運ぶ。

ぱくっ

…やられた!!!!

指が…

新二の口のなかに…

ゆっくりと溶けるチョコレイト。

舐め回されるあたしの指。

「由紀ちゃんの指冷たい」

そりゃ冷え性ですから

指は返ってきてても、あたしのどきどきは止まらなくて。

なんだか物足りなくて。

なんだか物足りなくて。そんな黙り込んでいるあたしを新二はじつと見つめている。

「由紀ちゃん??」

あたしの中には言葉にできない気持ち。

恥ずかしくて言えない!!

「新二…大好きだよ」

言いたかったこととは違ったけど

精一杯頑張りました。

「俺もだよ」

もう一度あたしの手を握って歩き出す新二。

ねえ新二…

今日は言えなかったけど

今度は

その舌で

あのチョコレートみたいに

あたしを

溶かして…？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1085d/>

欲求とチョコレート

2010年10月11日00時56分発行